

アンケート回答用紙

回答送付先: aijuren.kyouiku@gmail.com

該当するものに○を付けてください。※複数回答可
ご意見がありましたら枠内にご記入ください。

氏名: 松崎 省三 様 (日本共産党 立候補者)

質問 1. 愛知県における学校のUD 推進に関する問題 (エレベーター未設置校が多い等) を
ご存じでしたか? また、どのように感じますか?

存じています。この問題は、愛知県が設置している「人にやさしい街づくり推進委員会」
の会合でも事態の改善を求める意見が相次ぐなど、県政の大きな課題となっています。学
校施設は子どもたちの安全や健康はもとより、地域の避難所、防災拠点ともなることか
ら、学校施設整備の予算を抜本的に増額し、計画的かつ早急にエレベーター設置をすすめ
ることが急務と考えます。

質問 2. 学校のユニバーサルデザイン化

回答: 1. 2. 3. 4. 5. その他のご意見は枠内にご記入ください

質問 3. 就学先決定通知の発出時期の変更

回答: 1. 2. 3. その他のご意見は枠内にご記入ください

質問 4. 人的配置の改善

回答: 1. 2. 3. その他のご意見は枠内にご記入ください

質問5. 人権感覚を養う学校となるためのインクルーシブ教育の実践

回答: ①. 2. 3. 其他のご意見は枠内にご記入ください

質問6. 教員の職場環境の改善

回答: ①. 2. 3. 其他のご意見は枠内にご記入ください

質問7. インクルーシブ教育の実現のためにどのような政策が必要だと考えますか？

日本の教育制度がインクルーシブ教育にふさわしいものとなるためには、国民的な合意形成をはかりつつ、以下の施策が必要と考えます。

- ・「学校設置基準」に障害種別ごとに必要な施設・設備を入れるとともに、既設校にも設置基準を適用する。
- ・通常学校における一学級あたりの児童生徒数を引き下げ、通級指導教室の整備計画、施設整備の充実をはかる。
- ・教員定員基準を新設し、教職員の増員や施設設備のバリアフリー化、エアコン設置など教育環境をととのえる。
- ・障害者総合支援法による移動支援を通学にも使えるようにする。
- ・医療的ケアが必要なすべての児童がいるすべての学校に看護職を配置にする。

これらに加え、個別のニーズにこたえる「合理的配慮」を提供するために、世界最低水準の教育予算（OECD 諸国で下から二番目、OECD 平均の7割）を抜本的に増やすことが必要です。日本共産党は、自民・公明党政権のこれまでの教育政策を転換し、子どもも保護者も教職員も、希望のもてる教育の実現に全力をつくします

以上